

## 平成 29 年度長崎大学がんプロ養成基盤推進プラン離島・僻地医療実習

実習生：古川 浩平

実習先：長崎県五島中央病院

実習期間：平成 30 年 1 月 4 日（木）～ 平成 30 年 1 月 31 日（水）

### 「五島中央病院での実習を終えて」

今回、私はがんプロ離島・僻地医療実習の一環として五島中央病院にて約 1 ヶ月間の実習を行わせて頂きました。

五島中央病院は、五島市人口約 4 万人を支える五島市唯一の中核病院です。病床数は 304 床（一般 230 床・精神 60 床・結核 10 床・感染 4 床）であり、診療科も多数ありますが、一部の診療科では常勤医師 1 人態勢であったり常勤医師がおらず週に数日大学等からの応援の医師が来て診療を行っております。

実習は主に内科の指導医の先生のもと外来診察およびがん治療患者を含む病棟管理の見学、各種検査の見学、嚥下ラウンドへの参加を行いました。外来診察では、生活習慣病からがん治療後のフォローアップまで幅広く見学させて頂きました。私の所属する口腔外科では普段から医科の先生方と連携をとり生活習慣病を持つ患者さんの外科処置を行うことが多々あります。ここでは各病態について詳しく教えて頂き、実際にどのような管理をおこなっているのか目にする事ができました。また外来入院患者さんを問わず上部・下部消化管内視鏡検査、気管支鏡検査、心臓カテーテル検査など様々な検査を見学させて頂きました。実習初日には心臓カテーテル検査に助手として参加させて頂き大変貴重な経験となりました。私たちは、このような検査を手術前のスクリーニングや急変時の検査を目的として依頼することがありますが、私自身実際に目にする事はありませんでした。今回実際に目にする事ができ、さらには助手として参加し検査方法や目的などより理解を深める事ができたのではないかと考えています。その他にも透析室の見学に加え、嚥下ラウンドでは、口腔ケアや口腔内診査を行いつつ入院患者さんの嚥下内視鏡検査や嚥下造影検査も見学させて頂きました。

本実習の主とするがん治療においては、消化器系および呼吸器系のがん治療を中心に見学させて頂きました。内視鏡下や超音波下での生検術を多数見学し、化学療法では抗がん剤のミキシング（五島中央病院では外来化学療法室を現在増設中であり、病棟での化学療法では人員不足もあり主治医が抗がん剤の準備をするとのこと）も経験させて頂きました。口腔がんと他のがん種との治療法や画像所見の違いや共通点を学ぶ事ができました。また五島には緩和ケアを専門とした病院がなく、五島中央病院は主治医の先生方を中心に診査診断から治療、緩和ケアまで一貫したがん治療の役割を担っているのだと実感しました。

今回の実習を通し、離島・僻地医療の厳しさを想像以上に痛感しました。しかし、限られた人員や医療環境の中で日々奮闘する先生方を目にし、私は恵まれた環境の中で診療をしていることに気づかされるとともに、刺激を受けこれまで以上に頑張らなければと感じた

1ヶ月でした。短期間ではありましたが、大変貴重な経験をさせて頂き充実した実習であったと感じております。村瀬病院長をはじめ指導医の先生方におかれましては、歯科医師というところもあり指導に戸惑う点多々あったのではないかと思います、分け隔てなく丁寧にご指導頂き、大変感謝しております。



「嚥下内視鏡検査」



「嚥下造影検査」



「指導医の今西先生と病棟にて」



報告会にて